

全てのいのちが共生する社会の構築に向けた工程表（計画）

	2011	2015	2020
2020年の目標 生物多様性の認知度向上 生物多様性の損失を止める行動の拡大			
普及・啓発			
地域のシンボリックな生物によるPR		シンボリックな種(イタセンバラ等)の保全・再生の情報発信、府民の取組みの支援	ホームページでの情報発信
地域でまもりたい生物・環境等の選定とPR	検討	関西広域連合の取組みとの連携	
生物と触れ合える場のPR		生物と触れ合える都市公園、府民の森、府立自然公園等の情報発信	
参加・行動			
身近な生き物調査		タンポポ調査等・関西広域連合の実施する(仮称)「残したい関西の自然」	
企業やNPO、地域等と協力した参加型プログラムの充実		共生の森づくり、泉佐野丘陵緑地整備、里山保全、棚田保全活動、アドプトフォレスト、アドプトルーパー、オアシス構想の推進等	
環境教育の推進		出前授業、学校ビオトープ等の設置推進	
府民理解の促進			大学コンソーシアムや生物多様性関連施設と連携した人材の育成
現況の把握			
レッドデータの改訂・活用(外来種リストの検討を含む)		レッドデータブック(目録レッドリストの改訂、ホットスポットの明示)	レッドリスト2014を活用した普及啓発、現況把握等 外来種リストの検討
情報の共有化		既存施設、活動団体等と生息情報等を共有化	
生息環境の保全・再生の仕組み			
生物多様性配慮の手引策定			生物多様性研修プログラムの開発・活用
市町村や企業等の生物多様性配慮活動の促進	手法検討	おおさか生物多様性パートナー協定制度の創設、生物多様性保全活動の促進 企業の担当者向けの研修プログラムの作成・活用	
生物多様性推進拠点の整備		府営公園、府民の森、府立自然公園、淀川のフンド、自然海岸保全地域などを先行して指定	
生物多様性の保全に資する地域指定の拡大		保安林・鳥獣保護区の拡大	
		府立自然公園区域の指定	
天然記念物の追加指定の検討		追加指定に向けた、調査研究	
生息環境の保全・再生・創造			
法、条例による緑地や自然環境の保全			自然公園法、森林法、大阪府自然環境保全条例、大阪府自然海岸保全地区条例による地域の保全
藻場・自然海岸の再生	藻場・干潟の造成による環境改善、及び活動を通じて府民の親水性向上を促進	藻場、干潟の造成、攪拌ブロック礁の造成等の手法による豊かな漁場づくりの推進	
海底の砂地を再生	マーブルビーチ沖等での覆砂、地域協働による調査・保全		
大阪湾窪地の解消	埋め戻しのモニタリング	窪地の埋め戻し 順次実施	
水産資源の保護管理		遺伝子の多様性に配慮した栽培漁業、資源回復計画による水産資源の保護管理、魚礁の設置	
多自然川づくり		特徴に応じた多自然川づくりを推進	
生物多様性に配慮した農空間の保全と活用		農地・農業用施設の保全と活用を通じた生物多様性の保全	
大規模緑地等を拠点としたエコロジカルネットワークの構築		生物多様性、みどりのネットワーク化に配慮した公園計画及び緑化の推進	
森林整備の推進		人工林の適正な間伐・針広混交林化の推進	
里山の保全管理の推進		新たな森づくり制度の創設	
臨海部の生息環境の創造		共生の森づくりの推進	
野生動物の適正な保護管理		シカ、イノシシの管理計画の推進	
アライグマ・ブラックバス等の外来生物対策		アライグマ防除実施計画の推進、ブラックバス、ブルーギル、外来水性植物の駆除等	
調査研究の推進		生態系の保全や生物多様性の増大に関する調査・試験研究等	

全てのいのちが共生する社会の構築に向けた工程表（実績）

	2011	2015	2020
2020年の目標 生物多様性の認知度向上 生物多様性の損失を止める行動の拡大			
普及・啓発			
地域のシンボリックな生物によるPR		イタセンバラの保全・再生の情報発信、府民の取組みの支援、ホームページでの情報発信	
地域でまもりたい生物・環境等の選定とPR		関西広域連合の取組みとの連携、 「関西の活かしたい自然エリア」選定、公表(H28)	
生物と触れ合える場のPR		「生き物と触れ合える都市公園計画」(H12策定)の情報発信 府民の森、府立自然公園等の利用促進	
参加・行動			
身近な生き物調査		おおさか身近な生きもの調査 「せみのぬけがら探し」実施(H23)	
企業やNPO、地域等と協力した参加型プログラムの充実		共生の森における植樹イベント等の実施、泉佐野丘陵緑地の整備推進(H26開園)、 三草山ゼファルスの森における観察会等の実施、 棚田ふるさとファンクラブの運営等による棚田保全活動の推進、アドプトフォレスト・アドプトルーパーの推進	
環境教育の推進		府内の生物多様性関連施設等と連携した生物多様性保全活動、 生物多様性研修プログラム(H26)を活用した研修の実施	
府民理解の促進		「おおさか生物多様性保全ネットワーク」設立(H23) 「おおさか生物多様性施設連絡会」設置(H28)	
現況の把握			
レッドデータの改訂・活用(外来種リストの検討を含む)		「大阪府レッドリスト2014」の作成(H25)、レッドリスト2014を活用した普及啓発 外来生物啓発リーフレットの作成(H30)	
情報の共有化		「おおさか生物多様性保全ネットワーク」設立(H23) 「おおさか生物多様性施設連絡会」設置(H28)	
生息環境の保全・再生の仕組み			
生物多様性配慮の手引策定		生物多様性研修プログラム冊子の発行(H26)、改訂(H30)	
市町村や企業等の生物多様性配慮活動の促進		おおさか生物多様性パートナー協定制度の創設(H25) 生物多様性研修プログラム(H26)を活用した研修の実施	
生物多様性推進拠点の整備		生物多様性の保全に資する地域指定(※)の拡大 (H22: 81,970ha ⇒ R1: 84,022ha)	
生物多様性の保全に資する地域指定の拡大		※保安林、鳥獣保護区、国定公園、府立自然公園、近郊緑地保全区域、自然環境保全地域、 緑地環境保全地域、特別緑地保全地区、自然海岸保全地区、国・府指定天然記念物	
天然記念物の追加指定の検討		天然記念物の指定の推進(H28: 3件、H29: 1件)	
生息環境の保全・再生・創造			
法、条例による緑地や自然環境の保全			自然公園法、森林法、大阪府自然環境保全条例、大阪府自然海岸保全地区条例による地域の保全
藻場・自然海岸の再生		藻場の造成等のため、増殖場を設置	
海底の砂地を再生		生物の生息空間創出等の促進のため、攪拌ブロック礁を設置	
大阪湾窪地の解消		海底窪地の埋戻し	
水産資源の保護管理		遺伝子の多様性に配慮した栽培漁業の推進、資源管理指針等による水産資源の保護管理 生物の生息空間創出等の促進のため、攪拌ブロック礁を設置	
多自然川づくり		特徴に応じた多自然川づくりを推進	
生物多様性に配慮した農空間の保全と活用		農地・農業用施設の保全と活用を通じた生物多様性の保全	
大規模緑地等を拠点としたエコロジカルネットワークの構築		生物多様性、みどりのネットワーク化に配慮した大阪府営公園の環境整備	
森林整備の推進		人工林の適正な間伐 「大阪府森林整備指針」の策定(R1)	
里山の保全管理の推進		林地残材(未利用材)を継続的・安定的に拠出する仕組みの構築	
臨海部の生息環境の創造		府民・NPO等との協働による共生の森づくりの推進	
野生動物の適正な保護管理		大阪府シカ第二種特定鳥獣管理計画、大阪府イノシシ第二種特定鳥獣管理計画の推進	
アライグマ・ブラックバス等の外来生物対策		大阪府アライグマ防除実施計画の推進、外来生物に係る普及啓発、特定外来生物の防除推進	
調査研究の推進		専門機関と連携した調査・試験研究等の実施(生物多様性研修プログラム・特定外来生物の防除方法)	